2023年度　実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

【看護学科(新カリキュラム)

教育内容		科目	担当教員名	履修学年および時間数			実務経験担当		実践的な教育内容
				1年	2年	3年	時間数	単位数	
専門分野	基礎看護学	看護学入門	田上晶子	30			30	1	総合病院における小児病棟、外科病棟勤務など幅広い臨床経験を活かし、基礎看護学を担当。1年生へ看護学への導入、さらに看護を考えるうえで欠かせない人間や健康、環境について理解を深め、倫理観を養うための授業を展開している。
		看護過程方法論	田上晶子	30			30	1	総合病院における小児病棟、外科病棟勤務など幅広い臨床経験を活かし、基礎看護学を担当。さらに院内の看護記録委員や臨床実習指導者の経験を活かし、1年生へ基礎看護学における看護過程を展開する意義や方法についての授業を展開している。
		共通基本技術論Ⅱ	中谷　能子	30			30	1	大学病院における臨床経験から、ベッドメーキング・リネン交換の実際をもとに、入院生活における適切な病床環境を整える技術を身につけ、安全で安楽な生活を送るために必要な移動・移乗の方法に関する演習を踏まえた講義を行う。
		生活援助論Ⅰ	山下久美子 武田　ひとみ	45			45	1	総合病院において様々な病棟勤務を通じて培った経験を活かし、療養生活を送る対象者の身体の清潔、寝衣交換の援助方法について、必要な知識・技術に関する授業を行う。 総合病院の小児科勤務のなかでの小児や家族への看護経験を活かし、人間の生活における身体の清潔と衣生活に必要な清潔援助・寝衣交換の援助方法について授業を行う。
		生活援助論Ⅱ	毛野　和代 中谷　能子	40			40	1	大学病院に従事した臨床経験を生かし、人間の生理的欲求の1つである排泄についてのメカニズムと看護について実習室で授業を行う。また、浣腸の技術を取得する演習を行う。 大学病院における臨床経験から、栄養摂取の必要性や食事介助・その他の栄養摂取に関する援助方法に関する講義を行う。
	母性看護学	母性看護学総論	奥田　裕紀子	20			20	1	総合病院の産婦人科・乳腺外科病棟に勤務し、女性が生涯において関わる様々な症例に応してきた経験を活かし、女性のライフステージ各期における健康問題とその看護の視点を拡大できるよう授業を行う。
		母性看護学援助論Ⅱ	奥田　裕紀子 毛野　和代		45		45	2	総合病院の産婦人科病棟に勤務し、助産師として多くの分娩や妊・産・褥婦・新生児に携わってきた経験を活かし、それぞれの経過を身体的・心理的・社会的な側面から援助方法を考えられるよう授業を行う。 大学病院の産婦人科に従事し、周産期における妊産褥婦・新生児の身体的・心理的・社会的側面をアセスメントし、看護の視点を伝え、臨地実習へつなげられるように授業を行う。
			合計	195	45		240	8	

近畿大学附属看護専門学校　2023　SYLLABUS

看護学科（新カリキュラム）

2023年度

看護学入門

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

「看護とはなにか」について探求し続けるための基本的な考え方を身につける。看護の原点や看護の理念、歴史的背景、教育制度などについての学習を通して、看護の本質的価値や魅力に触れる。また、看護職に求められる倫理について学び、看護職としての姿勢を身につける基本的な学習を行う。

関連教科

看護理論、看護過程方法論、基礎看護学実習Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

ナイチンゲールプロジェクト学習での元ポートフォリオ、プレゼン用模造紙、凝縮ポートフォリオ作成は時間外で行います。
また、学習を進めるうえでの面接指導も時間外に行います。

授業での学びにおいて課題はその都度指示します。

ナイチンゲールプロジェクト学習を通して、学習の計画性や課題提出方法、時間管理や報告・連絡・相談などについて看護学生としての姿勢も学びます。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験・授業内課題	
ナイチンゲールプロジェクト学習課題	

テキスト

系統別看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護学①　看護学概
医学書院

看護覚え書き
日本看護協会出版会

看護の基本となるもの
日本看護協会出版会

看護職の基本的責務
日本看護協会出版会

参考文献

系統別看護学講座　別巻　看護倫理
医学書院

ケアの本質
ゆるみ出版

プロジェクト学習の基本と手法
教育出版

参考URL

特記事項

看護職を目指すにあたっての学び方をしっかりと身につけましょう。
授業時間内はもちろん、時間外での「学び方」を知ってもらう科目であると考えていますので、授業時間外での課題ができないと合格に結び付きません。
”資料を読み取る”ことは看護職として必要な能力のひとつです。特にナイチンゲールプロジェクト学習は、資料での説明

①実務経験のある教員による科目（本務先）
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
教員経験；基礎看護学、小児看護学
臨床経験；小児看護、整形外科看護

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1回目	看護の魅力を知り、看護師を目指すうえで大切なことは何かを考えることができる。
2回目	看護の変遷、看護の定義から、看護の本質的価値について考えることができる。 1）看護の変遷を知り、近代看護についての理解を深める。 2）ナイチンゲール、ヘンダーソンの考え方から「看護」について考えることができる。
3回目	看護ケアや看護実践とその質保証に必要な要件から、看護の役割・機能について考えることができる。
4回目	看護実践者として必要な能力について理解できる。 ナイチンゲールプロジェクト学習を通して、看護のメタパラダイムである「人間」「環境」「健康」のつながりを考えることができる。 ※ナイチンゲールプロジェクト学習のすすめ方を説明します。
5回目	看護におけるメタパラダイム：「人間」について考えることができる。
6回目	看護におけるメタパラダイム：「環境」について考えることができる。
7回目	看護におけるメタパラダイム：「健康」について考えることができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
8回目	職業としての看護と看護職の資格や制度について理解できる。
9回目	看護の提供の仕組みについて理解できる。
10・11・12回目	看護における倫理を学び、看護者としての求められている姿勢を理解し、学生としての姿勢・行動について考えることができる。
13・14回目	ナイチンゲールプロジェクト学習 発表会 1）聞き手にわかるプレゼンテーションができる。 2）相手に配慮した評価の仕方がわかる。 3）他者のプレゼンテーションから学ぶべき点を見出すことができる。
15回目	ナイチンゲールプロジェクト学習 凝縮ポートフォリオ評価会 1）自分以外の考え方や発想を得て、自己の成長につなげることができる。 2）「凝縮ポートフォリオ」を適切に評価（自己、他者）することができる。 3）発表会での学びを活かしたポートフォリオが作成できる。

2023年度

看護過程方法論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	田上 晶子								

科目の目標

看護実践の方法論として、看護の守備範囲や看護問題の表記方法など看護問題/看護診断の基礎を含めて、問題志向型システムである看護過程を理解する。看護過程の展開を行ううえでの基礎的知識を学び、事例を使った演習を行う。

関連教科

看護学入門、ヘルスアセスメントⅠをはじめとする基礎看護学科目
解剖生理など専門基礎分野科目

時間外学習（予習・復習・課題）

情報の分析には、解剖生理学や病理学、疾病論などの知識が必要です。また、看護を考えるにあたっては、自ら知識を得ていくことが求められます。そのため、時間外での自己学習は必須となりますので、自己学習や課題の取り組みも評価の対象とします。

看護過程の展開を理解するには、毎回提示する課題を行わないと理解が難しくなってきますので、必ず実施しておきましょう。

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
看護過程展開課題（提出期限を守ることやグループワーク、個人ワークでの取り組みを評価します）	

テキスト

系統看護学講座　専門Ⅰ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ
医学書院

NANDA-Ⅰ　看護診断　定義と分類　2021-2023
医学書院

看護がみえる④　看護過程
メディックメディカ

系統看護学講座　専門Ⅰ　臨床看護総論
医学書院

参考文献

看護がみえる　①基礎看護技術　③フィジカルアセスメント
メディックメディカ

参考URL

特記事項

看護過程の展開は、授業を聞いているだけでは習得できない看護技術の一つです。
しっかりと授業に参加しましょう。また、個人ワークだけでの習得も難しい科目です。グループワークを多用しますので、協同学習のスキルも身につけ、グループ内での個人の責任をしっかりと果たし、”学び合う”ことで理解を深めてください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
教員経験；基礎看護学、小児看護学
臨床経験；小児看護、整形外科看護

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1回目	看護過程とは何かが理解できる。 ※ナイチンゲールプロジェクト学習で学んだことから理解を深める。
2回目	健康状態の経過に基づく看護について理解できる。 1）健康状態各期の定義が理解できる。 2）健康レベルに応じた看護の必要性について理解できる。
3・4回目	看護過程の展開 ①アセスメント 看護における情報の必要性と情報収集、情報の整理について理解できる。
5・6・7回目	看護過程の展開 ①アセスメント 収集・整理した情報の意味を既習の知識を使って考えることができる。
8・9回目	看護過程の展開 ②問題の明確化（看護診断） アセスメントの内容から、看護上の問題をNANDA－Iの看護診断から導くことができる。
10・11回目	看護過程の展開 ②問題の明確化（看護診断） アセスメント内容を図式化し、看護上の問題を統合することができる。
12・13回目	看護過程の展開 ③計画立案 長期目標、短期目標の理解から、具体的な計画立案ができる。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
14回目	看護過程の展開 ④実施・評価 計画に基づく実施とその評価の意義について理解できる。
15回目	看護記録 1）看護記録の法的位置づけや規定、目的を理解することで正しい記録とは何かが理解できる。 2）看護者として情報の保護について、必要性と方法について理解できる。

2023年度

共通基本技術論 II

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	中谷 能子								

科目の目標

1. 人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための援助の方法を学ぶ。
2. 人間の生活における活動と休息について学ぶ。
3. 安全・安楽およびボディメカニクスについて理解し、活動と休息への援助方法について

関連教科

・解剖生理学 I
・解剖生理学 II
・看護学概論 I
・共通基本技術 I

時間外学習（予習・復習・課題）

1．課題　①ベッドメーキング：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
②リネン交換の目的：準備物品、手順、根拠、留意点
③体位変換・体位保持：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
④車椅子移乗・移送：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
⑤ストレッチャー移乗・移送：目的、準備物品、手順、根拠、留意点
2．ベッドメーキング、リネン交換の練習

オフィスアワー

月～金　8：30～17：30　教務室担当者に申し出てください。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
提出物、練習状況	

テキスト

系統看護学講座　専門 I　基礎看護技術 II　基礎看護学③
医学書院

看護がみえる　vol.①　基礎看護技術
MEDIC　MEDIA

参考文献

参考URL

特記事項

・学内演習時の身だしなみについて理解した上で、学内演習に臨んでください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）
中谷　能子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；母性看護、新生児看護
教員経験；母性看護学、小児看護学、基礎看護学

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	看護技術について 1. 看護技術の特徴について知る。 環境調整技術 1. 生活環境の意義について理解する。 2. 生活環境が健康に及ぼす影響について理解する。
2コマ目	環境調整技術　援助の基礎知識 1. 病室の環境のアセスメントと調整について理解する。 2. ベッド周囲の環境整備について理解し、実践をイメージする。
3コマ目	環境調整技術 1. ベッドメーキングの目的・実施方法を理解し、実践をイメージできる。 2. 学内演習（ベッドメーキング）の目的・方法が理解する。
4～5コマ目	環境調整技術　援助の実際　＊学内演習 1. 学内演習でベッドメーキングを実践する。
6コマ目	活動・休息援助技術①　睡眠と休息の援助 1. 睡眠と休息が人間の生命や生活に与える影響を理解する。 2. 睡眠を促す必要がある状況と対応した援助について理解する。
7～８コマ目	活動・休息援助技術②　姿勢・ボディメカニクス・体位変換 1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解する。 2. さまざまな体位とその目的を理解し、身体を動かすこと・保持することの生理的・身体的意義を理解する。体位変換の援助を学ぶ。
9コマ目	苦痛の緩和・安全確保の技術 1. 体位保持（ポジショニング）の意義を理解する。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
10コマ目	活動・休息援助技術③ 1．移送の基本と移動を補助する器具について理解し、杖歩行の援助を学ぶ。 2．車椅子・ストレッチャーについて理解し、移乗の援助と移送の方法を学ぶ。
11コマ目	1．リネン交換の目的・実施方法を理解し、実践をイメージする。 2．学内演習（体位変換・ポジショニング、車椅子移乗・移動）を目的・方法を理解する。
12～13コマ目	活動・休息援助技術　＊学内演習 1. 安楽な体位を保持する方法を身につける。 2. 車椅子移乗・移送を実践する。 3. 対象が安全・安楽に移動できる援助方法を習得する。
14～15コマ目	環境調整技術　＊学内演習 1. 臥床患者のシーツ交換の目的・実施方法を理解し実践する。 2. 学内演習で臥床患者のリネン（シーツ）交換を実践する。 3. 活動・休息援助技術で学んだ知識・技術・態度を活用し実践する。
16コマ目	筆記試験

2023年度

生活援助論Ⅰ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	山下 久美子、武田 ひとみ								

科目の目標

1. 人間の生活における身体の清潔と衣生活の意義を理解し、清潔および更衣の援助方法について学ぶ。
2. 学内実習を通し、清潔援助・寝衣交換について考え、実施する。
1) 皮膚の構造と生理機能を理解し、清拭・寝衣交換が実施できる。
2) 部分浴により、臥床患者の血液循環を促進し、爽快感を与えることができる。

関連教科

解剖生理学
共通基本技術論Ⅱ

時間外学習（予習・復習・課題）

課題：全身清拭（石鹸清拭）・足浴・手浴・洗髪・陰部洗浄・寝衣交換の根拠と手順
課題についての詳細は、講義内で説明します。

オフィスアワー

講義時間以外に技術練習を行う場合は、事前に申し出ること。
・月～金　8：00～17：45まで（18：00には学校を出られるように計画的に行動する）
・土　8：00～11：45まで（12：00には学校を出られるように計画的に行動する）
・17～21コマ目にあたる学内実習期間中の授業時間外に練習指導が可能な時間は、学内実習ガイダンス時に説明

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
出席状況（技術練習含む）、技術の習得状況、態度、課題提出物	

テキスト

系統看護学講座　専門Ⅰ　　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学
医学書院

看護がみえる①　基礎看護技術
MEDIC　MEDIA

参考文献

講義内で紹介します。

参考URL

特記事項

4コマ目以降は、講義時間内および講義時間外を有効に活用し、計画的かつ積極的に技術練習を行う。
技術練習に関する時間帯にオフィスアワーを参照する。

①実務経験のある教員による科目（本務先）
山下久美子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；内科看護（循環器・消化器）脳神経外科看護、小児看護、母性看護
教員経験；基礎看護学

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）
武田ひとみ
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験：小児看護
教員経験：基礎看護学、小児看護学

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	1. 皮膚、粘膜の構造と機能について理解することができる。 2. 身体の清潔が生体や精神に及ぼす影響と意義について理解できる。
2コマ目	1. 全身清拭の意義を理解し、効果的な援助方法と留意点について理解できる。
3コマ目	1. 洗髪・足浴・手浴・洗髪の意義を理解し、効果的な援助方法と留意点について理解できる。
4コマ目	1. 衣生活の意義を理解する。 2. 病衣交換の方法と留意事項について理解できる。
5・6コマ目	清潔援助　演習①② 実施項目：「全身清拭・寝衣交換、陰部洗浄、洗髪、足浴、手浴」 1. 専門家チームに対して教員がデモンストレーションを行う。 2. 専門家チームの技術練習
7・8コマ目	清潔援助　演習③④ 実施項目：「足浴、手浴」 1. 専門家チームからメンバーへデモンストレーションを行う。 2. チーム内で技術練習
9・10コマ目	清潔援助　演習⑤⑥ 実施項目：「陰部洗浄」 1. 専門家チームからメンバーへデモンストレーションを行う。 2. チーム内で技術練習

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
11・12コマ目	清潔援助　演習⑦⑧ 実施項目：「洗髪」 1. 専門家チームからメンバーへデモンストレーションを行う。 2. チーム内で技術練習
13・14コマ目	清潔援助　演習⑨⑩ 実施項目：「全身清拭・寝衣交換」 1. 専門家チームからメンバーへデモンストレーションを行う。 2. チーム内で技術練習
15・16コマ目	清潔援助　演習⑪ 1. 実施項目：「全身清拭・寝衣交換、陰部洗浄、洗髪」の中より、グループ毎に技術練習を行う。 2. 学内実習についてガイダンス
17コマ目	清潔援助　演習⑫ 実施項目：「全身清拭・寝衣交換、陰部洗浄、洗髪」の中より、グループ毎に技術練習を行う。
18・19コマ目	学内演習 演習内容：陰部洗浄 グループ別に指導教員の指導を受ける。
20・21コマ目	学内演習 演習内容：臥床患者の洗髪 グループ別に指導教員の指導を受ける。
22・23コマ目	学内実習 実習内容：臥床患者の全身清拭・寝衣交換 グループ別に指導教員の指導を受ける。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
24コマ目	筆記試験

2023年度

生活援助論Ⅱ

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	毛野 和代、中谷 能子								

科目の目標

1. 人間の生活における食と排泄の意義を理解し、その援助方法を学ぶ。
2. 学内演習を通し、排泄援助について考え、実施する。

関連教科

・解剖生理学Ⅰ Ⅱ
・代謝栄養学Ⅰ
・看護学入門
・ヘルスアセスメント論Ⅰ
・共通基本技術論Ⅰ Ⅱ
・生活援助論Ⅰ

時間外学習（予習・復習・課題）

・受講前に「経鼻経管栄養法」「中心静脈栄養法」「導尿」「グリセリン浣腸」「摘便」「罨法」について、目的、必要物品、手順、留意点について学習しておくこと。
・「グリセリン浣腸」ＤＶＤを視聴したうえで9コマ目を受講すること。

オフィスアワー

講義時間外に技術練習を行う場合は、事前に申し出ること
　朝：8：00～講義開始（講義開始時間に遅刻しないように）
　放課後：講義終了～17：45（18:00には全員下校できるように）

成績評価方法・基準

評価項目	割合
筆記試験	
演習態度、提出物	

テキスト

系統看護学講座　専門Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③
医学書院

看護がみえるvol①　基礎看護技術
メディックメディア

看護がみえるvol②　臨床看護技術
メディックメディア

参考文献

参考URL

特記事項

①実務経験のある教員による科目（本務先）
中谷　能子
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；母性看護、新生児看護
教員経験；母性看護学、小児看護学、基礎看護学

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）
毛野和代
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；母性看護、精神看護、脳神経内科看護
教員経験；母性看護学、基礎看護学

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第1回	食事援助技術 1．対象の栄養状態および食欲・摂食能力のアセスメントの方法を理解する。
第2回	食事援助技術 1. 食事介助の具体的な方法を学ぶ。 2. 経口的な栄養摂取が行いにくい場合の摂食・嚥下訓練について学ぶ。
第3回	食事援助技術 1. 非経口的栄養摂取の援助の概略について理解し、経鼻経管栄養法の具体的な方法を学ぶ。 2. 中心静脈栄養法について学ぶ。
第4回	食事援助技術 1. 食事援助の実際を学ぶ。 食事の環境調整、準備、後片付けの方法を学ぶ。
第5回	食事援助技術 1. 食事援助の実際を学ぶ。 食事介助の実際を学ぶ。
第6回	排泄援助技術 1. 排泄の意義とメカニズム、アセスメントの方法を理解する。 2. 自然排尿および自然排便の介助の実際を学ぶ。 1）トイレにおける排泄介助 2）床上排泄援助 3）おむつによる排泄援助
第7回	排泄援助技術 1. 排便を促す援助について学ぶ。 2. 臥床患者に対する床上排泄の援助技術を学ぶ。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第8回	排泄援助技術 1. 一時的導尿、持続的導尿について学ぶ。
第9～11回	学内演習「グリセリン浣腸」に関するガイダンス 1. 学内演習において何を学ぶのかを明確にできる。 2. 模擬事例について具体的にイメージできる。 ガイダンスの後、デモンストレーションを見学しグループ毎に導尿の練習を行う。
第12～13回	学内演習 装着モデルを使用し、「臥床患者のグリセリン浣腸」を教員の指導のもとグループ別に実施する。
第14回	排泄援助技術 摘便について学ぶ。
第15～17回	学内演習「導尿」に関するガイダンス 1. 学内演習において何を学ぶのかを明確にできる。 2. 模擬事例について具体的にイメージできる。 ガイダンスの後、デモンストレーションを見学しグループ毎に導尿の練習を行う。
第18~19回	学内演習 装着モデルを使用し、「臥床患者の導尿」を教員の指導のもとグループ別に実施する。
第20回	苦痛の緩和・安楽確保の技術 罨法について学ぶ。

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
第21回	筆記試験

2023年度

母性看護学総論

曜日・時限		配当学年	1学年	期区分		単位数	1単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	奥田 裕紀子								

科目の目標

1. 母性看護の対象を理解する
2. 母性を取り巻く社会の現状や課題と制度や法律を関連させ、母子保健を学ぶ
3. 女性のライフサイクル各期における健康の保持増進のための看護者の役割を学ぶ

関連教科

社会学、生命倫理、家族論、成人看護学総論、精神看護学総、基礎看護学方法論Ⅱなど

時間外学習（予習・復習・課題）

基礎体温を40日以上測定します。測定開始時期は、講義中にお知らせします。
女子学生は婦人体温計を準備してください。男子学生は普通の体温計を準備してください。

オフィスアワー

特になし

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
課題の提出	

テキスト

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学概論　母性看護
医学書院

ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程
医歯薬出版 著）太田　操

参考文献

なぜから学ぶ生命倫理
医学芸術社

参考URL

特記事項

出席・授業態度は評価に反映するので注意してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）

奥田裕紀子

近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）

臨床経験：アドバンス助産師　産婦人科　小児科　乳腺外科　消化器外科

教員経験：基礎看護学　助産診断・技術学　助産管理

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）

②実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1コマ目	母性・父性 母性・父性の概念が述べられる 人間の発達課題とともに、親になること・家族を作ることの意味が考えられる 母性・父性の発達過程とその発達に影響を与える要因を述べられる
2コマ目	母性看護、リプロダクティヴヘルス 母性看護の目的について述べられる リプロダクティヴヘルス/ライツの概念が述べられる
3・4コマ目	母性の身体的特徴：性周期 性周期の仕組みが述べられる 卵巣・子宮の周期性変化が述べられる 性周期におけるホルモンの変化が述べられる 基礎体温の測定方法についてわかる
5・6コマ目	母性の心理的特徴 母性性の発達について理解できる 親子相互作用について内容がわかる
7コマ目	母性の社会的特徴 現在の家族の傾向から母性が受ける影響について述べられる 地域社会から母性が受ける影響が述べられる 労働から母性が受ける影響が述べられる
8コマ目	母子保健の現状 母子保健統計から日本の現状と動向がわかる
9コマ目	母子保健対策 母子保健対策の現状について述べられる 母子保健活動のための法律がわかる 母子保健活動の内容が述べられる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
10コマ目	母性看護に必要な看護技術 ヘルスプロモーションのための看護技術がわかる 女性のライフサイクル各期の保健指導がわかる 母性看護における看護過程の特徴がわかる

2023年度

母性看護学援助論 II

曜日・時限		配当学年	2学年	期区分		単位数	2単位	授業方法	講義
開講学科等	看護学科3年課程								
教員名	奥田 裕紀子、毛野 和代								

科目の目標

妊娠・分娩・産褥および新生児における生理的変化とそれぞれの時期における保健指導を含めた看護について理解できる

関連教科

母性看護学総論　母性看護学方法論 I -1　母性看護学方法論 I -2　母性看護学方法論 II -2

時間外学習（予習・復習・課題）

身近な妊産褥婦・新生児と関わり、観察してください

オフィスアワー

成績評価方法・基準

評価項目	割合
終講試験	
課題（提出状況と内容）	

テキスト

系統看護学講座　専門 II　母性看護学各論　母性看護学2
医学書院

参考文献

病気がみえる10　産科　第4版　MEDIC MEDIA

ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程　第3版

参考URL

特記事項

・各期の間で講義進度は前後することがあります。
・出席、講義態度は評価に反映しますので注意してください。
・終講試験後の沐浴ガイダンスになりますが、講義時間に含まれますので、欠席に注意してください。

①実務経験のある教員による科目（本務先）
毛野　和代
近畿大学附属看護専門学校

①実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；母性看護、精神看護、脳神経内科看護
教員経験；母性看護学

---

②実務経験のある教員による科目（本務先）
奥田裕紀子
近畿大学附属看護専門学校

②実務経験のある教員による科目（専門領域）
臨床経験；アドバンス助産師、産婦人科、乳腺外科、消化器外科
教員経験；基礎看護学、助産診断・技術学、助産管理

---

③実務経験のある教員による科目（本務先）

③実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

④実務経験のある教員による科目（本務先）

④実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑤実務経験のある教員による科目（本務先）

⑤実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑥実務経験のある教員による科目（本務先）

⑥実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑦実務経験のある教員による科目（本務先）

⑦実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

---

⑧実務経験のある教員による科目（本務先）

⑧実務経験のある教員による科目（専門領域）

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
1～3コマ目	妊娠期 ・妊娠期の成立と胎児の発育過程が述べられる ・胎児付属物の機能と役割が述べられる ・妊婦の経過に伴う身体生理的変化、心理的・社会的変化が述べられる ・妊婦のニーズおよび看護問題とその原因を判断するために必要な情報がわかる ・母児が妊娠経過を健康に過ごすために、援助を必要としているニーズと看護問題がわかる ・妊娠経過に合わせた、妊婦の日常生活健康探究行動がわかる
4.5コマ目	妊娠期 ・母性意識の発達を促す援助についてわかる ・妊婦の一般的心理を理解して、その援助のあり方がわかる ・マイナートラブル（不快症状）に対する援助がわかる ・妊娠経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助方法がわかる
6.7.8コマ目	分娩期 ・産婦の分娩経過における身体的・心理的・出産に伴う家族の影響が述べられる ・分娩の経過に影響を及ぼす因子がわかる ・産婦のニーズおよび看護問題と、その原因を判断するために必要な情報がわかる ・母児が分娩経過を健康に過ごすために、援助を必要としているニーズと看護問題がわかる ・母児が健康で分娩を経過するように、分娩経過に合わせた産婦の日常生活行動の援助がわかる ・産婦とその家族の精神的安定をはかる援助のあり方がわかる
9～11コマ目	分娩期 ・薬物を用いない産痛緩和法がわかる ・分娩経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための緩和方法がわかる
12.13コマ目	産褥期 ・褥婦の産褥経過における身体的変化・心理的特徴・出産に伴う家族の反応が述べられる ・産褥異常が母児に及ぼす主な健康問題がわかる ・褥婦のニーズおよび看護問題とその原因を判断するための必要な情報がわかる ・褥婦が産褥経過を健康に過ごすために、褥婦の援助を必要としているニーズと看護問題がわかる
14.15コマ目	産褥期 ・感染、子宮復古不全、乳汁分泌不足などの異常を起こさず、健康で産褥期を経過するように、産褥経過に合わせた褥婦の日常生活行動について援助がわかる ・ペアレンティングを促進する援助がわかる ・産褥経過で起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助方法がわかる
16～18コマ目	新生児 ・新生児の胎外生活への適応過程がわかる ・新生児の身体的特徴がわかる ・新生児のニーズおよび看護問題とその原因を判断するために必要な情報がわかる ・新生児とのコミュニケーションのとり方がわかる

授業計画（回数任意科目）

授業回等	授業内容
19～21コマ目	新生児 ・新生児が胎外生活に適応し健康に過ごすために、援助を必要としている新生児のニーズと看護問題がわかる ・新生児の保育技術がわかる ・新生児に起こりやすい異常の予防と早期発見、および健康回復のための援助法がわかる ※看護過程の展開　提出
22.23コマ目	沐浴ガイダンス ・沐浴実習の進め方がわかる